紅しだれ

京都府女性薬剤師会
会長　堀田　眞代
http://www.kyotojoyaku.com/
yeswecan09.exblog.jp
info@kyotojoyaku.com

更なる自己研鑽と支援のお願い

会長　堀田　眞代

梅の開花が遅れるほどの厳しい寒さも和らぎ、日差しの眩しい季節となりました。会員の皆様にはいつも会の運営にご支援を賜り有りがとうございます。お蔭様で一年を無事終えることが出来ました事、衷心より感謝申し上げます。実力派の先輩会長の足跡を辿るのが精一杯の私、無力さを思い知らされました。

3.11 の未曾有の「天災人災」に直撃された昨年は、ひたすら復旧に邁進した年でした。被災地に多くの薬剤師が入り医薬品の仕分け管理、処方支援、医薬品の識別、代替医薬品の選択、一般医薬品の適切な使用推進等、薬剤師職能を発揮し活動する姿が、社会の目には頼もしく見られたと思います。今年はこれを踏まえ、将来を見据えて、復興・再生希望の夜明けです。この年に丁度、薬局・病院の実務研修をした薬学教育６年制の薬剤師が誕生します。既存薬剤師は薬剤師職能をアッピールしながら仲間として迎える事が求められます。急速に進む少子高齢化社会での国民医療費増大は恒常的に社会問題となります。ジェネリック医薬品の普及、在宅介護、医療の推進、セルフメディケーション等に力点を置いた医薬品チームの一員として求められる薬剤師は医薬品の適正使用には、もっと積極的な関与が期待されています。医療現場の中で患者さまの役に立ち、感謝され、自らも満足できる仕事をするには日々の自己研鑽が必要です。会ではその場を提供できる活動に努めて参ります。どうぞ今年も御指導、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

「高齢者社会で求められる薬剤師力」

薬剤師ケアマネージャー
ミキ薬局　日下部美代子先生の講演をきいて

中嶋　佳代子

５月８日　「在宅介護における薬剤師の役割」研修会に参加させていただきました。

まず先生が実際に経験された自宅介護されているご家族の例をいくつか聞かせていただきました。介護する人が高齢者の場合や、特に認知症の患者さんを自宅で介護される場合に薬の管理、服薬は困難ですが、患者さんにもご家族にもとても重要であり薬剤師の役目は大きいと思いました。認知症の患者さんの場合、家族が薬を触れない場合や、患者さんとご家族の関係がぎくしゃくしている所もあるかと思います。そういう場合に外から薬剤師が入り服薬指導をすることで、症状が改善されたり、患者さんとご家族との間に外から新しい風が入り、関係改善にもつながることと思います。これからますます薬剤師の介護支援は重要になることと思いました。

講演の中では、仕事をされているなかでの本音の話なども聞かせていただき、なかなか他では聞けない貴重な事も聞けて、出席させて頂いてよかったと思いました。

春

池内　千恵子

入院の母の枕辺春日立つ

東(ひむがし)にしろがねの月春浅し

春の闇筧の水音の沈みをり

一皿に春を盛り込む夕餉かな

春の雨力をたむる庭の松

気になる漢方講座

若い人に引き継ぎたい漢方について
～環境改善型予防医学としての漢方

「生活習慣病を防ぐ食べ物」

を聴き思ったこと

山口　美智子

便利な世の中になり、毎日の食事作りが変わってきています。特に冷蔵庫が普及してからは、その変化も大きくまた、食品添加物が多く含まれた食べもの、食塩の摂りすぎ、アスベスト、自動車の排気ガスによる大気汚染など、化学文明の発達と産業の振興が人類に及ぼした光と影、今、食生活を見直すいい機会だと思いました。

- 悪性腫瘍について

大腸がん、肺がん、前立腺がんの順に増えてきている中で、その原因は、タバコをすう、大酒のみ、肉をたくさん食べる、乳製品をあまり食べない人は癌になりやすいと聞き、そこで、我が家を振り返ったとき、夫は大酒のみ以外の 3 点に当てはまるし、私は、全くあてはまらない。

悪性腫瘍を予防改善する食べものとして、朝鮮人参、椎茸、はと麦、アロエ等。アロエは私の実家に今でもたくさん植わっていて「医者要らず」と呼び、重宝しています。大豆サポニン、ピーマン、人参、納豆などは、乳がんになりにくい食べ物である。心配性の私は、豆乳を飲むことが最近増えました。

- 肥満の予防改善

ゆばや、高野豆腐などの大豆食品、米酢、ギムネマなどの食べ物がよい。これまた肥満で悩む母の顔が浮かびました。

いずれにしても、日常の食生活の積み重ねが、病気を予防する大切なことであり、季節の食べ物を積極的に取り、先祖の知恵の結晶である食文化を守る努力が必要であるとの先生の言葉に共鳴し、スピードとストロングの便利な世の中であるからこそ、スローでソフトな生き方に変えるきっかけとして、漢方や食生活とうまく付き合っていかなければならないと、講演を聞き思いました。

漢方処方園で漢方に開眼

根釜　賀与子

去る７月２３日新装された「武田薬品工業(株)京都薬用植物園」を見学させて頂きました。薬用植物の栽培研究のみならず、遺伝子資源の収集・保存に努めておられる植物園を拝見させて頂くことは大変興味深く、この日を待ち望んでおりました。

広大な土地に数多くの植物、暑くて湿度もあり、歩いての見学は大変でしたが、研究員の方のユーモアたっぷりで植物への愛情がひしひしと伝わる解説に１時間半歩き回った実感はありませんでした。

漢方処方の構成生薬を栽培展示している「漢方処方園」は漢方に縁のなかった私までもが引き込まれる内容でした。「温室」「民間薬園」など其々が特徴のある施設で、植物園の充実ぶりが伺われました。

研修棟の前に立つ一本のプラタナスの木。この木の親木の下でヒポクラテスが弟子達に講義を行ったそうです。医を真摯に学ぶことの大切さを語っている様で、この日に見たこの木の姿を自分の戒めにしたいと強く感じた次第です。

この様な素晴らしい体験が出来ました事を心より嬉しく思っています。

施設を開放して下さった武田薬品工業（株）の皆様、企画をして下さった京都府女性薬剤師会の皆様、ありがとうございました。

京女薬　診療ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ薬剤ｺｰｽ 平成23年度ｽｸｰﾘﾝｸﾞ講習会に参加して

横山　恵子

2月5日(日)私にとっては3回目のｽｸｰﾘﾝｸﾞ講座を受講しました。

毎回時流に即した話題で興味のあるテーマばかりです。会場も満席で多くの薬剤師の方々の意気込みが感じられました。

今年度も特別講演ではアトピー性皮膚炎、認知症が取り上げられ、どちらも長く付き合う疾患であるため正しい知識を身につけて患者さんや家族への対応が求められます。

学術講演もサインバルタ、プラザキサについてメーカーからの薬の評価、使用上の注意点など再確認することが出来ました。

まずアトピー性皮膚炎では谷岡 Dr が御自分のアトピー体験をふまえながらの講演でした。治療は外用薬が基本であり、特にステロイド剤の外用は副作用が心配のあまり、中断されることも多いのですが、塗布量は1FTU＝0.5g＝掌2枚(ﾁｭｰﾌﾞで指の第一関節まで出した量は約 0.5g でこれを掌 2 枚分の患部に塗布する)　部位によってステロイドの強弱を使い分けながらもきちんと塗布することが大切なことです。又、アトピーでは皮膚のバリア機能が低下しているので保湿は基本です

次にサインバルタですが、バブル崩壊後の1999年以降我が国では毎年自殺者が3万人を超え、深刻な問題になっています。原因にはうつ病も大きくかかわっていますが近年、従来とは違ったタイプの「気分変調性うつ病」なども増加しています。

急性期を過ぎ寛解期に入ってもすぐに服薬中止すると再発しやすいとのこと、投薬時になかなか患者さんの病状は伺えませんが自己判断での中止はしないようアドバイスは必要と思われます。

3題目は認知症です。高齢化に伴い患者は増える一方で、認知機能の低下だけでなく家族にとってより困るのが徘徊、暴言、妄想など周辺症状です。その症状や対処方法を澤田 Dr がユーモア溢れる話術で、時に笑いを誘いながら話して下さいました。認知症の薬も増え、4 種類の薬の特徴、使い分け、又効果と副作用の狭間で必ずしも添付文書通りの処方が出来ない状況などお聞きして処方箋を受け取った時に少しでも処方量の意味が理解出来るようになったかと思います。

最後にプラザキサですが出血による死亡例も出た中、副作用である出血は投与開始後1か月、特に1週間で多く現れる事、高齢者に多い事などが紹介されました。

歯茎、鼻からの出血、血便血尿などが副作用の前兆であることを見逃さないようにしなければいけません。効果はワーファリンと同等で食物や他の薬の影響も受けにくい患者にとっては利便性の高い薬なので適正な使用が望まれます。

しめくくりの挨拶では「4 月には6年制1期生が卒業し、先輩としての指導にあたることになる中、医療チームの一員として医薬品の適正使用に努め、自己研鑽に努めましょう」という言葉を頂き、身の引き締まる思いでした。

五端　禎子

2題の特別講演と2題の学術講演が行なわれました。夫々長時間をかけて講演していただきました。興味深い講演で、多くの内容を学ばせて頂きましたが印象にのこったことのみを簡単に書かせていただきます。

①京都大学　谷岡未樹先生

アトピー性皮膚炎の病態とガイドラインに準拠した診断と治療―医療不信、治療の混乱から抜け出そう―

アトピー性皮膚炎は適切な治療により自然寛解も期待される。副作用がわかっているという意味で、安全な治療が出来る。ガイドラインに沿った治療方針に従ってくれない患者へは、十分な説明をおこなって、アドヒァランスを高める必要がある。

O／W型の外用薬を油脂性のステロイド外用薬と混合した場合、効果は低下し水の層が分離していて、細菌汚染のリスクが高まる。使用直前の混合ならよい。

W／O型の外用薬は水の分離がなく、またステロイド外用薬の効果が高まる。ヒルドイドソフト、パスタロンソフト、ネリゾナユニバーサルクリーム、メサデルムクリームの 4 種がそれである。

- 人差指 一関節分が 0,5 g であり、成人の手のひら 2 枚分である。（体表面積の 2 %）この量が炎症を十分に鎮静し得る塗り方である。吸収率は手を 1 として、股は 40、顔は 13。
- 難治性で、外用薬にも抗ヒスタミン内服薬にも反応しない患者にはネオーラルを 2 ～ 3 ヶ月に限り使用することがある。
- タクロリムス軟膏を、寛解時のかゆみの無い時でも週に 2 ～ 3 回塗布することで、皮疹増悪を予防、遅延する寛解維持効果があるとの EBM が報告されている。分子量の大きなタクロリムスはヒト皮膚での吸収は、正常化するほどゼロに近づいていく。適正使用すれば、皮膚がんの発生率は自然発生率を超えるものではないとの報告がある。
- 石鹸は特に選ばない。泡立てて手を洗う。よく洗い流す。

②北山病院　澤田親男先生

認知症診療における薬物療法の留意点

★　認知症疾患

アルツハイマー型認知症（6 割）、血管性認知症（4 割）、レビー小体型認知症、正常圧水頭症、外傷性認知症、アルコール性認知症（MRI 正常の認知症は多くいるとのことです。）

★　中核症状の薬物療法

ドネペジル；10mg は吐気が強くなるが、めまいは少ない。

ガランタミン；軽度～中等度に

リバスチグミン；吐気がきわめて少ない。痒みがでるときはヒルドイドソフトを塗ってから貼る。18mg を 1 枚貼るより 4,5mg を 4 枚貼るほうが保険適応はないが皮膚症状は出にくい。18mg を 1／4 に切ってもよい。

メマンチン；問題行動を抑える効果が大きいが、過鎮静になることが 2 割くらいある。

★　周辺症状(BPSD)

AD や DLB の初期にうつになることは多い。

暴言・暴力；精神科薬物療法。副作用に注意が必要。

徘徊；GPS や名札など。

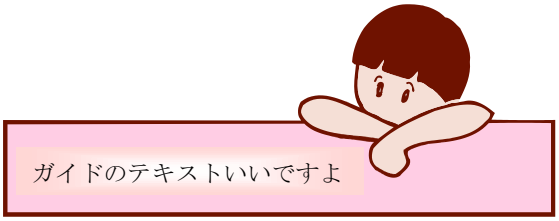
- 抗精神病薬のいる認知症の周辺症状に保険適応はなく、薬物療法に関する治験が蓄積されていくことが求められる。
- あらかじめ家族に病気の進行に伴い現れてくる症状を話しておくことで、家族の戸惑いを減らすことができる。
- 患者の尊厳を守るように、環境を整えることで解決するように。便失禁のとき用の蓋付バケツを置くなど。物盗られは本当のことがある。患者の年金が息子の通帳に入っていたりする。

③塩野義　平野　茂氏

うつ病患者さんにおけるサインバルタの治療効果について

④ｱﾄﾞﾎﾞｶｼｰﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄ 循環器＆代謝第一ｸﾞﾙｰﾌﾟ

田中克典氏―プラザキサを適正にお使いいただくために―



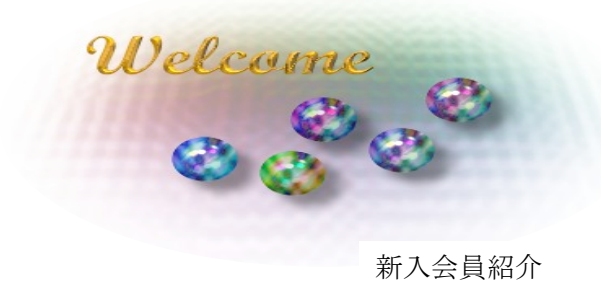
診療ガイドライン薬剤コースは最新のエビデンス、最新の報告に基づくものであり、また実際に患者と向き合う医療関係者の方々の貴重な知識を学ばせて頂けるテキストです。服薬指導に役立たせて頂いております。おかげさまで患者様との信頼関係もより深くなったように思います。

『脳を守る　不整脈の話　心房細動を中心に』を聴いて

戸倉　なおみ

普段、患者さんとお薬のことしか頭にない私は講師の中野先生のお話に、視野を大きくしていただきました。先ず脳を守るために、脳梗塞のなかで予後が悪い心原性脳梗塞の原因となる心房細動のお話です。その前に私の苦手な心電図のお話もしていただきました。心房細動の起源は左心房の肺動脈に入りこんだ心房筋が原因でおこる。また左心房の端に左心耳がありここで血液がよどみやすく、血栓ができやすい。この血栓が流れて脳梗塞の原因となるのです。生命予後に悪い影響をおよぼすものとしてうっ血性心不全、糖尿病、喫煙、ジゴキシン、抗不整脈薬投与があげられていました。次に脳梗塞を予防するためにリスクの高い人はワーファリンを使って血栓を作らないよう予防

しないといけないのですが、その時に参考にするのがＣＨＡＤＳ２スコアです。ＣＨＡＤＳ２スコアが高いほど脳卒中の発症率が高くなります。薬に関しては、ワーファリンでは７０％予防できるが、アスピリンはワーファリン禁忌例にのみ推奨されるとのこと。またＡＣＥ阻害薬投与により脳梗塞が減少するというお話でした。だいぶ割愛させていただきましたが、興味深いお話ばかりで本を読むだけでは学べないことを勉強させていただきました。



新入会員紹介

草場由美　坂井智子
大北康子　山崎聡子
高田恵　南野伊都子

訃報　栗原泰子先生

のご冥福をお祈り申し上げます。

この国の政治経済に重ねて世界秩序までもが、大きく揺らいでいる時代に呼応するように震災は起きた。「日本を信じる」と帰化されたキーン氏を裏切らない、落胆させない日本でありたい。再度、原発は人災の極致であることを肝に銘じて。

24 年度行事予定

5／20(日)京都府女性薬剤師会総会・研修会
伊良知景子先生　ｷｬﾝﾊﾟｽP 京都　1:00～
6／17(日)日本女性薬剤師会学術大会
一緒に考えよう生命の贈りもの
誕生から再生まで(9:30~16:00)
星薬科大学ﾒｲﾝﾎｰﾙ認定単位 3 単位
(交流会・表彰式は五反田ﾎﾃﾙ)
7／15(日)臨床講座「CKD について」中田徹男先生
9／22(日)漢方研修会　日置智津子先生
10／6(土)日本薬剤師会学術大会　於浜松市
・　日女のｴｸｽｶｰｼｮﾝ　13:00~17:30
・　懇親会　18:00～
7(日)・　学術大会
10／14(日)10:00～　武田薬草園見学
11／3(土)　第10回日本女性薬剤師会移動ｾﾐﾅｰin 愛媛
保険･医療･福祉の架け橋になろう
4(日)　学術大会ｾﾐﾅｰ　9:30~16:30
11／　近畿中国ﾌﾞﾛｯｸ研修会於岡山
12／　府民講座
2／　ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝｽｸｰﾘﾝｸﾞ研修会